



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社JMC 上場取引所 東
 コード番号 5704 URL <https://www.jmc-rp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 渡邊 大知
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 篠崎 史郎 TEL 045-477-5751
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の業績 (2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	736	△3.8	99	129.9	105	160.9	79	212.0
2025年12月期第1四半期	765	△15.0	43	△60.3	40	△63.9	25	△66.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	14.23	—
2025年12月期第1四半期	4.58	—

(注) 2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	2,843	1,726	60.7	310.88
2025年12月期	2,863	1,647	57.5	296.64

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,726百万円 2025年12月期 1,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,020	△6.3	205	97.9	199	96.6	132	—	23.79

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	5,598,500株	2025年12月期	5,598,500株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	45,050株	2025年12月期	44,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	5,553,461株	2025年12月期1Q	5,534,597株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期貸借対照表に関する注記)	10
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係注記)	11
(1株当たり情報に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)における我が国経済は、為替市場での円安傾向に加え、中東地域における地政学的リスクの顕在化により、製造コスト高騰への懸念が急速に高まっており、影響収束の見通しが不透明な状況が継続しております。

当社を取り巻く試作・開発市場は、EV(電気自動車)開発の本格化の一方で、内燃機関への回帰も一部で見られるなど、多方面へのリソース配分が求められた結果、開発速度が不安定化しております。また、FA(ファクトリーオートメーション(注))分野では、ものづくりにおける高度な自動化要求に対し、フィジカルAIを用いた自律化への研究開発に拍車がかかるなど、開発フェーズが進みつつあります。当社ではこれら各市場に対し、大型鋳造品を量産まで提供するとともに、顧客企業と共同で新素材・新工法への挑戦を継続しております。

このような環境の中、当社は品質管理体制の確立に注力するとともに、原材料や製造補助材料・部品類の確保を戦略的に進めてまいりました。また、顧客とのコスト交渉も積極的に実施するなど、効率的な製造や事業運営を推進することで、製造コスト高騰による業績への影響を抑制しました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高736,348千円(前年同期比3.8%減)、営業利益99,531千円(前年同期比129.9%増)、経常利益105,455千円(前年同期比160.9%増)、四半期純利益79,005千円(前年同期比212.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 3Dプリンター事業

3Dプリンター事業におきましては、心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID」の一部海外顧客向けの案件で、デリバリーの遅延等があったものの、概ね前年同期をやや下回る水準で推移しました。

一方で、出力サービス分野では、工業用部品の試作に加え、各種展示会やイベントで使用するモックアップ品ニーズへの造形提案など、多様な案件の獲得が続いたことにより、受注量は増加しました。

この結果、3Dプリンター事業の売上高は168,639千円(前年同期比1.5%減)、セグメント利益は52,875千円(前年同期比2.5%増)となりました。

② 鋳造事業

鋳造事業におきましては、国内外の自動車メーカー各社及びTier1(ティアワン)部品メーカーでのEV関連部品や駆動関係部品の開発案件や、FA分野での産業用ロボット向け大型鋳造品の試作ならびに補給部品の獲得が進みました。また、時間を要していた品質管理体制の確立について、一定程度の成果を獲得できたことに加え、2025年12月期の減損損失計上による固定費の減少も相まって、セグメント業績の回復が進みました。

この結果、鋳造事業の売上高は464,131千円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益は83,441千円(前年同期から81,063千円の増加)となりました。

③ CT事業

CT事業におきましては、顧客企業内での展示会や、カスタマイズ(顧客別)セミナーの実施を継続し、産業用CTの認知拡大に注力することで、顧客の分野を問わずスキャンサービス需要の獲得が進んでおります。しかしながら、スキャン案件の小規模化に加え、前年同期で実績を残していたCT装置販売が当第1四半期累計期間で計上がなかったことなどもあり、売上・利益とも前年同四半期の実績を下回りました。

この結果、CT事業の売上高は103,578千円(前年同期比28.9%減)、セグメント利益は81,554千円(前年同期比28.6%減)となりました。

(注) ファクトリーオートメーション

工場における生産工程の自動化を図るシステムのことで、当社は筐体の金属部品に、軽量かつ高強度のマグネシウム鋳造品やアルミニウム鋳造品を提案しております。

なお、当第1四半期累計期間の販売実績（内部取引を除く）を産業区分別に示すと次のとおりであります。

3Dプリンター事業

セグメント内産業区分	第35期 第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)		
	販売件数 (件)	販売金額 (千円)	比率 (%)
卸売業	115	67,434	40.0
精密機械・医療機械器具製造業	91	27,117	16.1
その他の製造業	38	18,231	10.8
一般機械器具製造業	31	10,917	6.5
輸送用機械器具製造業	19	10,568	6.3
電気機械器具製造業	54	6,350	3.8
医療業	26	6,169	3.6
化学工業	19	5,418	3.2
投資業	2	2,578	1.5
その他	62	13,855	8.2
合計	457	168,639	100.0

鑄造事業

セグメント内産業区分	第35期 第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)		
	販売件数 (件)	販売金額 (千円)	比率 (%)
一般機械器具製造業	382	244,325	52.6
輸送用機械器具製造業	44	86,764	18.7
卸売業	58	64,549	13.9
電気機械器具製造業	41	42,529	9.2
鉄鋼業、非鉄金属製造業	21	11,202	2.4
精密機械・医療機械器具製造業	7	4,158	0.9
代理商、仲立業	3	3,418	0.7
金属製品製造業	3	3,162	0.7
専門サービス業 (他に分類されないもの)	1	2,160	0.5
その他	4	1,861	0.4
合計	564	464,131	100.0

C T事業

セグメント内産業区分	第35期 第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)		
	販売件数 (件)	販売金額 (千円)	比率 (%)
一般機械器具製造業	27	28,579	27.6
卸売業	43	19,798	19.1
輸送用機械器具製造業	24	17,747	17.1
その他の製造業	18	6,100	5.9
専門サービス業 (他に分類されないもの)	10	5,757	5.6
電気機械器具製造業	19	4,507	4.3
精密機械・医療機械器具製造業	8	4,345	4.2
娯楽業	8	3,915	3.8
金属製品製造業	3	3,499	3.4
その他	19	9,328	9.0
合計	179	103,578	100.0

(注) 1. 産業区分に関しては、株式会社帝国データバンクのTDB産業分類表の中分類に従っております。
2. 販売件数、販売金額及び比率は、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,307,624千円となり、前事業年度末に比べ11,937千円増加いたしました。これは主に電子記録債権が73,313千円減少したものの、受取手形及び売掛金が52,257千円、仕掛品が24,702千円増加したことによるものであります。

固定資産は1,536,252千円となり、前事業年度末に比べ31,084千円減少いたしました。これは主に機械及び装置が20,105千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,843,877千円となり、前事業年度末に比べ19,146千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は656,201千円となり、前事業年度末に比べ131,671千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が100,000千円、短期借入金が50,000千円減少したことによるものであります。

固定負債は461,215千円となり、前事業年度末に比べ33,520千円増加いたしました。これは主に長期借入金が34,996千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,117,417千円となり、前事業年度末に比べ98,151千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,726,460千円となり、前事業年度末に比べ79,005千円増加いたしました。これは四半期純利益を79,005千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、当社の想定を上回って推移したものの、通期見通しに対しては予断を許さない状況が継続しております。

現時点において通期の業績予想につきましては、2026年2月13日公表の「2025年12月期 決算短信」における2026年12月期の業績予想からの変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、鑄造事業の収益悪化により前事業年度において固定資産の減損損失を1,319,409千円計上した結果、重要な当期純損失1,263,645千円を計上し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在していると認識しております。このような中、当社は試作品大型化への対応、量産鑄造部品の効率的な生産体制確立、事業ポートフォリオの分散化等の鑄造事業の収益性改善のための具体的な施策を進めております。

また、前事業年度において当期純損失を計上した結果、コミットメントライン契約に係る財務制限条項の一部に抵触することとなりましたが、金融機関との協議を通じて期限の利益の喪失に係る権利行使をしないことについての同意を得ております。なお、コミットメントライン契約以外に、手元流動性を確保するための資金調達枠を複数の金融機関と設定しております。

したがって、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	425,004	438,499
受取手形及び売掛金	500,244	552,502
電子記録債権	113,315	40,001
商品及び製品	29,700	21,330
仕掛品	79,480	104,183
原材料及び貯蔵品	99,105	109,561
前払費用	47,295	39,413
その他	1,944	2,523
貸倒引当金	△404	△391
流動資産合計	1,295,686	1,307,624
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	930,544	916,162
機械及び装置(純額)	173,580	153,475
土地	166,746	166,746
リース資産(純額)	51,796	48,349
建設仮勘定	8,022	15,691
その他(純額)	131,643	126,722
有形固定資産合計	1,462,334	1,427,146
無形固定資産	31,589	30,682
投資その他の資産	73,412	78,423
固定資産合計	1,567,336	1,536,252
資産合計	2,863,023	2,843,877
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,943	113,625
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	326,012	226,012
リース債務	44,198	37,831
未払金	167,332	153,893
未払法人税等	42,972	29,626
契約負債	31,732	33,520
賞与引当金	—	18,818
製品保証引当金	877	995
その他	41,804	41,877
流動負債合計	787,872	656,201
固定負債		
長期借入金	286,934	321,930
リース債務	42,043	37,086
資産除去債務	90,498	90,654
繰延税金負債	8,220	7,971
その他	—	3,572
固定負債合計	427,695	461,215
負債合計	1,215,568	1,117,417

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	817,733	817,733
資本剰余金	804,855	804,855
利益剰余金	46,385	125,390
自己株式	△21,520	△21,520
株主資本合計	1,647,455	1,726,460
純資産合計	1,647,455	1,726,460
負債純資産合計	2,863,023	2,843,877

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	765,078	736,348
売上原価	486,915	428,704
売上総利益	278,162	307,643
販売費及び一般管理費	234,871	208,112
営業利益	43,290	99,531
営業外収益		
受取利息	144	341
補助金収入	750	—
為替差益	—	2,051
受取補償金	—	5,000
その他	320	150
営業外収益合計	1,214	7,543
営業外費用		
支払利息	2,643	1,329
為替差損	1,441	—
その他	—	289
営業外費用合計	4,085	1,619
経常利益	40,420	105,455
特別利益		
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産除却損	320	1,823
特別損失合計	320	1,823
税引前四半期純利益	40,109	103,632
法人税、住民税及び事業税	15,398	24,875
法人税等調整額	△613	△248
法人税等合計	14,785	24,627
四半期純利益	25,323	79,005

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鋳造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	171,215	448,092	145,770	765,078	—	765,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	171,215	448,092	145,770	765,078	—	765,078
セグメント利益	51,561	2,378	114,163	168,104	△124,813	43,290

(注) 1. セグメント利益の調整額△124,813千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鋳造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	168,639	464,131	103,578	736,348	—	736,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	168,639	464,131	103,578	736,348	—	736,348
セグメント利益	52,875	83,441	81,554	217,871	△118,339	99,531

(注) 1. セグメント利益の調整額△118,339千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約及び財務基盤の安定を図るため取引銀行1行とコミットメントライン契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントラインの総額	950,000千円	950,000千円
借入実行残高	50,000	—
差引額	900,000	950,000

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	95,501千円	49,530千円

(収益認識関係注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント			
	3Dプリンター 事業	鋳造事業	CT事業	計
製品及び商品	170,580	448,092	29,408	648,081
その他・サービス	634	—	116,362	116,996
顧客との契約から生じる収益	171,215	448,092	145,770	765,078
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	171,215	448,092	145,770	765,078

(注) その他・サービスには、CTスキャン、装置等の保守及び修理、デジタルコンテンツ売上が含まれております。

当第1四半期累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント			
	3Dプリンター 事業	鋳造事業	CT事業	計
製品及び商品	168,221	464,131	90	632,442
その他・サービス	417	—	103,488	103,905
顧客との契約から生じる収益	168,639	464,131	103,578	736,348
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	168,639	464,131	103,578	736,348

(注) その他・サービスには、CTスキャン、装置等の保守及び修理といった検査・測定サービスが含まれております。

(1株当たり情報に関する注記)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり四半期純利益	4円58銭	14円23銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	25,323	79,005
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	25,323	79,005
普通株式の期中平均株式数(株)	5,534,597	5,553,461

(注) 前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。